



東京医療保健大学、看護DXを体系的に学ぶ公開講座
「看護DX実践講座【入門編】」を7月4・5日に開催
AI・IoT・業務改善・評価・情報倫理・情報セキュリティを通じて、
自施設の次の一手を考える2日間

学校法人青葉学園が運営する東京医療保健大学（本部：東京都品川区、理事長：田村聡明、学長：亀山周二）は、2026年7月4日（土）・5日（日）の2日間、公開講座「看護DX実践講座【入門編】」を開催します。1日目はオンライン、2日目は東京医療保健大学五反田キャンパスでの対面開催です。受講対象は、主任・師長等の看護管理者層、将来の管理職候補者、DX推進リーダー、病院事務職等を想定しています。受講料は28,000円、東京医療保健大学の卒業生・大学院修了生は25,000円、定員は100名（先着順）です。

東京医療保健大学では、これまで文部科学省から「医療DX」や「産業DX」をテーマとした補助事業に採択されるなど、医療・看護とデジタル技術の接点を重視した教育・研究の発信を進めてきました。今回の講座は、本学が誇るDXの知見を社会人向けの公開講座として展開するもので、看護DXの基本から実装の視点までを体系的に学ぶ機会として位置づけています。

本講座では、AI・IoT・業務改善・評価・情報倫理・情報セキュリティを通じて、受講者が自施設における次の一手を考えることを目指します。講座内容には、看護DXの意義、スマートホスピタルの実装事例、見守り改善におけるIoT活用、記録時間削減に向けたAI活用、改善活動の設計と評価、情報倫理・情報セキュリティなどを含みます。看護部門だけでなく、医事、経営企画、情報システム、総務等を含む病院事務職にも参加対象を広げ、病院全体でDXを進める視点を共有する場とします。

東京医療保健大学
看護DX実践講座
入門編

DX推進リーダーのための
業務改善・AI/IoT活用・
マネジメント

看護DXを、基礎から実装へ。
 AI・IoT・業務改善・評価・情報倫理を学び、
 自施設での次の一手を考える**2日間**。

開催日時
 2026年
7月4日（土）・5日（日）
 1日目 2日目
 オンライン 東京都内で対面開催

修了証授与
 全期受講者に修了証を授与します

2日間集中

主な内容 看護DXの基本から実装の視点までを体系的に学ぶ

- 看護DXの基本
- AI活用
- IoT活用
- 業務改善
- 評価
- 情報倫理・情報セキュリティ

講師
 東京医療保健大学教員・実務家講師陣
 坂本 すが、本谷 園子、村岡 修子、瀬戸 俊馬、藤井 莉志、福島 俊江、小澤 知子
 ※登壇順に記載

主な対象
 主任・師長等の看護管理者層
 将来の管理職候補者
 DX推進リーダー
 病院事務職
 (医事・経営企画・情報システム・総務等)

受講料
28,000円
 東京医療保健大学の卒業生・大学院修了生は**25,000円**

申込受付中!

■開催概要

講座名：東京医療保健大学 看護DX実践講座【入門編】

開催日：2026年7月4日（土）・5日（日）

開催形式：1日目 オンライン／2日目 対面

受講料：28,000円（東京医療保健大学の卒業生・大学院修了生は25,000円）

定員：100名（先着順）

申込期間：2026年5月1日（金）～5月31日（日）

■詳細・申込ページ

<https://www.thcu.ac.jp/research/lecture/detail.html?id=3213>

■公開講座に関する問合せ先

東京医療保健大学 総合研究所

E-mail：kenkyo@thcu.ac.jp

電話：03-5421-7655（代表）

【東京医療保健大学とは】

理事長：田村聡明

学長：亀山周二

設立年度：2005年

本部：東京都品川区東五反田

キャンパス：五反田キャンパス、世田谷キャンパス、国立病院機構(東が丘)キャンパス、国立病院機構立川キャンパス、船橋キャンパス、雄湊キャンパス(和歌山)、日赤和歌山医療センターキャンパス(和歌山)

学部(学科)：医療保健学部(看護学科、医療保健学科(管理栄養学専攻、臨床検査学専攻、医療情報学専攻、臨床工学専攻)、東が丘看護学部(看護学科)、立川看護学部(看護学科)、千葉看護学部(看護学科)、和歌山看護学部(看護学科)

専攻科：助産学専攻科、和歌山助産学専攻科

大学院：医療保健学研究科(修士課程9領域、博士課程3領域)、看護学研究科(修士課程4コース、博士課程)和歌山看護学研究科(修士課程3領域)、千葉看護学研究科(修士課程)

学生数：2,935名(2026年4月現在)